

羊蹄山の優しさ

これは富士山だと見間違がったほどよく似ていた。子供の頃に社会科の授業で北海道の羊蹄山の写真を見たときの印象であった。この羊蹄山は蝦夷富士の愛称で親しまれ北海道を代表する名山として、また日本百名山のひとつに数えられている。山の形は左右対象の美しい円すい型をしたコニーデ型火山で成層火山とも呼ばれる。

よく似た山の形に山形県と秋田県境の鳥海山（出羽富士）、群馬県の榛名山（榛名富士）、栃木県の男体山（日光富士）、鳥取県の大山（伯耆富士）など沢山ある。一方世界に目を向けてもチリのオソルニ山、トルコのアララト山、メキシコのポポカテペトル山、グアテマラのアグア山、フィリピンのマヨン山等々、一目見ただけではまるで富士山と間違えるほどだ。私は長野県周辺に連なる北アルプスの穂高岳、剣岳、槍ヶ岳のごつごつとした岩むき出しの険しい山姿も男性的で好きだ。更にエベレスト、モンブランもそれぞれの美しさがある。



北海道の羊蹄山を見ていると優しい母のような女性をイメージしてくる。見ていて飽きない美しさだ。この山の標高は 1898m。山頂には直径 700m、深さ 200mの火口（父釜）と、西北西斜面にも側火山（母釜、小釜）を持つ。登山道周辺には 130 種類ほどの豊富な野鳥が生息している鳥の楽園でもある。そして季節によって高山植物も見られ国の天然記念物にも指定されている。今テレビでは日本百名山としての山登りの番組が好評を得ている。大自然を満喫しながら頂上を目指して自分との精神的肉体的挑戦。そして頂上を極めたときの達成感が何ともいえない魅力があるのだ。

撮影 2015 年春

